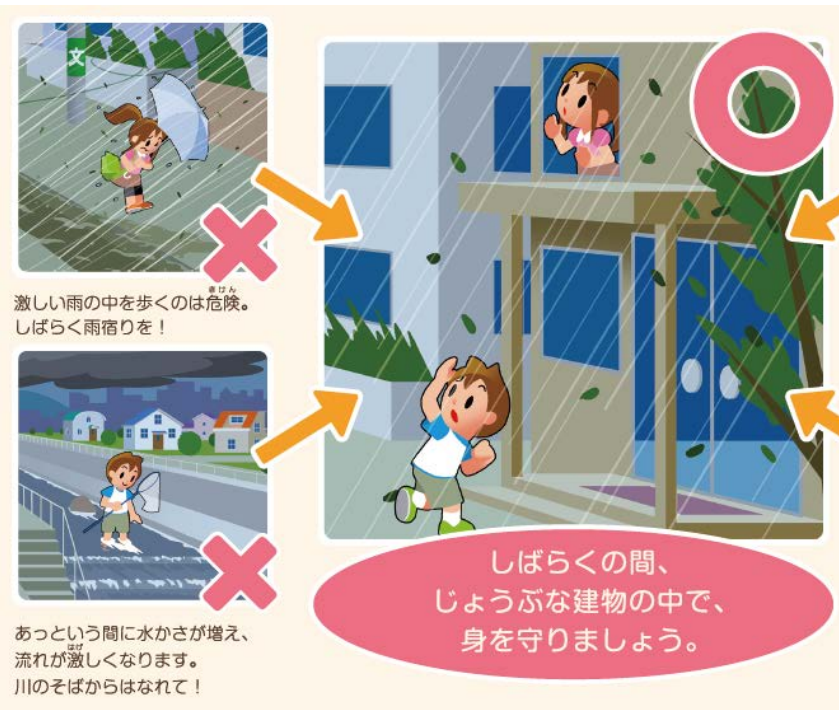


# 「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

**急な大雨** 夏は発達した積乱雲がもたらす大雨が多い季節です！



7月3日、北九州市では発達した積乱雲により、非常に激しい雨となりました。八幡のアメダス観測では、1時間に73ミリとなり、1976年の観測開始以来の記録を更新しました。

この急な大雨で、低地やアンダーパス（線路や道路の下を通る道路や地下道）が冠水、住宅では床上まで浸水する被害が発生し、ニュースでも大きくとりあげられました。

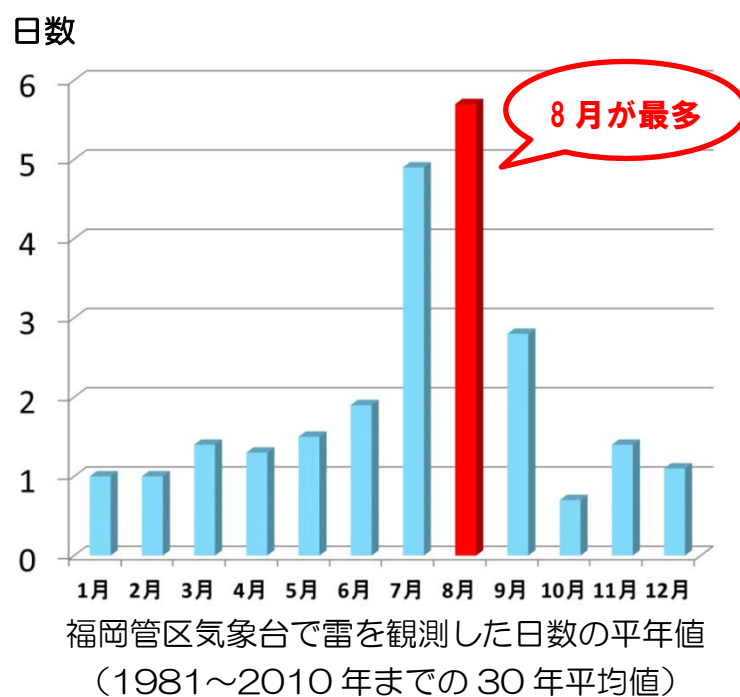
「急な大雨・雷・竜巻から身を守る方法」は、気象台から配布したDVDをご覧ください（[気象庁ホームページ](#)でも見ることができます）。

## 8月は、1年間で雷がもっとも多く発生する月です！ 福岡の雷日数

福岡市では、1年間に約25日雷が鳴っています。

月別の雷日数を見ると、8月が多です。これは、日中の強い日射によって暖められた地面付近の空気上昇し、積乱雲が多く発生するためです。

さらに夏場の雷は数日続くことが多く、「雷三日」といわれています。



- 屋外でのイベントは、事前にテレビ等で天気予報の確認を！
- 天気予報で注意したいキーワード  
「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」
- 「真っ黒い雲」「雷の音」「急な冷たい風」は、危険のサイン！

## 宇宙に咲く花？ ひまわり！



人工衛星には、予定された軌道に乗った時点で、～宇宙に花開け～との願いを込めて花の名前がつけられてきました。1977年夏に打ち上げられた気象衛星第1号は、太陽をイメージさせる「ひまわり」という名前になりました。

その「ひまわり」も現在第7号となり、地球から約3万6千キロはなれた宇宙から、台風や雲などを毎日観測しています。



2013年	7月16日	火曜日
平成25年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
気候・調査課	福岡市中央区大濠1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp	

## 「お天気Q&A」

Q: 雷が光ってから、音が聞こえるまでに差があるのはどうしてなの？

A: 雷が鳴るとき、光と音はほぼ同時に発生しているのですが、光のほうが音よりもずっと速く伝わるので、音は遅れて聞こえてきます。

音の進む速さは1秒でおよそ340メートルですので、光ってから音が聞こえるまで何秒かを数えておくと、雷までの距離がわかります。

何秒か	雷までの距離
30秒	約10km (次の落雷は、すぐ近くかもしれない、もう危険な距離です)
10秒	約3km
3秒	約1km

## 気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから	<input type="text" value="気象庁"/> <input type="button" value="検索"/>	
携帯から	<input type="text" value="防災情報"/> <input type="button" value="検索"/>	